学校番号	2003

平成３１年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Ｊｏｙ　ｏｆ　Ｍｕｓｉｃ」　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布する練習記録表や実技テストで評価します。
・合唱やアンサンブル活動を通じて、一体感や達成感を味わってほしいと思っています。
・音楽が、生涯ずっと、皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	A:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:観賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 練習記録表 ワークシート	観察 ワークシート 発言内容 自己評価カード	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	アンサンブルを楽しもう	【器楽アンサンブル】 バンド形式でのアンサンブル	○	○	○	○	a:アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に、主体的に取り組もうとしている。 b：音楽表現をパートやグループ内で工夫し、どのように表現するかについて意図をもって活動している。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:演奏作品に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取 発表会
	ハーモニーを味わおう	【合唱】 きみ歌えよ 証	○	○	○		a:声を合わせる活動に関心を持ち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている b:音色・リズム・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら、曲想を歌詞の内容に関わらせて、音楽表現を工夫し、どのように声を合わせるか表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞の内容と関わらせて感じ取り、イメージを持って声を合わせることを生かした音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。	観察 自己評価カード 演奏の聴取
	西洋音楽の世界	【鑑賞】 管弦楽曲	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期・3学期	ハーモニーを味わおう	【合唱】 SWINGIN’ with the Saints	○	○	○		a:声を合わせる活動に関心を持ち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。また、文化的・歴史的背景との関連にも関心を持ち、それらを生かして歌うことに取り組もうとしている。 b:音色・リズム・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら、曲想を歌詞の内容に関わらせて、音楽表現を工夫し、どのように声を合わせるか表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞の内容と関わらせて感じ取り、イメージを持って声を合わせることを生かした音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。	観察 自己評価カード 演奏の聴取
	器楽アンサンブルの楽しみ	【器楽】 バンド形式でのアンサンブル	○	○	○	○	a:各自が選曲した楽曲について、楽曲の特徴や雰囲気、楽器の音色や奏法、演奏形態などを生かして、表現することに主体的に取り組もうとしている。 b:各自が選曲した楽曲について、楽曲の特徴や雰囲気、楽器の音色や奏法、演奏形態などを生かして、音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図を持っている。 c:創意工夫をした音楽表現をするために、必要な歌唱や楽器、創作の技術を身につけ、創造的に表している。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、楽器や歌唱の特徴と表現の効果との関わりを感じ取って、楽曲を解釈し、それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め、お互いの発表演奏のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 練習記録表 発表会感想用紙 演奏の聴取
	舞台芸術の世界	【鑑賞】 オペラ･ミュージカル･歌舞伎の特徴とその違い	○			○	a:オペラ・ミュージカル・歌舞伎などの舞台芸術の特徴を理解し、それらの文化的・歴史的背景に関心を持ち、鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。